

バンコク国際ハラール会議2008に参加して

イスラーム研究家 齊藤カ二郎

はじめに

タイ王国の首都バンコクで11月20日に開かれた「バンコク国際ハラール会議2008」に、筆者は拓殖大学イスラーム研究所のシャリーア専門委員会の武藤委員長と遠藤委員と共に出席した。

参加国

同会議に代表団を派遣した国は、オーストラリア、オーストリア、ブラジル、バーレーン、バングラデシュ、中国、カンボジア、ドイツ、オランダ、インドネシア、イラン、日本、ケニア、韓国、キルギスタン、マラウィー、マレーシア、モロッコ、ニュージーランド、フィリピン、パレスチナ、サウジアラビア、セルビア、南ア、スーダン、タイ、トルコ、アラブ首長国連邦、イギリス、米国、ベトナム、イエメンで、それぞれハラール食品の認証機関やイスラーム関連団体、或いはサウジアラビア、アラブ首長国連邦のようなバンコクのイスラーム機関の代表者が出席した。

主催国であるタイ側からは、直接の招待主であるソムチャイ・イスラーム銀行頭取（ムスリム名：ゼイナルアービディーン）に加えて、オラン・チャイブラヴァット副首相や農業・協同組合省及び財務省の副大臣が歓迎の挨拶をして、自国で初めて開かれた国際ハラール会議に寄せる、官民挙げての熱い想いが伝わってきた。

大会議室に隣接するホールには、タイ国内のハラール食品製造・販売企業や啓蒙機関、分析・教育機関の展示会場になっており、会議の休憩時間には参加者との活発な情報交換、商談が行われていた。

代表的な発表の要旨

会議では各国の報告や研究発表、提言が一日中続いた。代表的な発表を紹介しよう。

●バドルディーン・ハワリー教授（シリアのダマスカス出身でドイツのハラール認証団体代表）は、ハラール認証の具体例を提示し、ハラール食品及びハラーム（禁忌）食品の定義を解説し、ハラール食品であることを満たす条件、及び必要な手続き、ハラール認証を発行する条件、ハラール家畜を屠畜する条件を詳述した後、ハラール食品マーケットを次のように展望した。

イスラーム諸国は53カ国ある。世界には13億人のムスリム（イスラーム教徒）が居る。ヨーロッパには3700万人のムスリムが暮らす。ドイツには350万人のムスリムが居る。2008年のハラール食品の輸出額は5千億ドル。

●アブドッラハマン・リンザグ氏（世界ハラール評議会「WHC」事務局長。フィリピンのハラール食品認証団体の代表。弁護士）は次のように説いた。



世界ハラール評議会参加者集合写真



国際ハラール製品展示場ゲート

ハラール認証が国連の国際食品規格の一部に取り入れられて以来、ハラール認証は国際的に重要な問題になっている。従ってハラール認証機関のみならず、ハラール食品製造企業も、真正で国際的に認められるハラール食品基準を遵守しなければならない。

●ムンハマド・ナドラトツザマーン博士（インドネシアのイスラーム法学者評議会「MUI」の下部組織LPPOM所長。WHC会長）は、インドネシアにおけるイスラーム金融システム、特にイスラーム村落銀行に焦点を当てて、年率2割を超えるその急発展振りを紹介し、次のように結論付けた。

MUIやインドネシア中央銀行、政府・議会が共同でスクーク（イスラーム債）法及びイスラーム銀行法の制定を目指しており、イスラーム金融業はインドネシアで今後とも成長が期待される。

●アハマド・アルアブシー博士（米国ネブラスカ州オマハ市ハラール取引協会会長）は、ハラール食品・化粧品ビジネスの成功には以下の要素が欠かせないと強調した。

イスラーム法学者が認めた原料（動植物、化学品）を用いる。原料・部品購入費、家畜飼育費、人件費などの必要経費は全てリバー（金利）が無い資金で調達される。加工業者は適正価格で販売し、ハラール食品と言う理由だけでハラール食品の販売価格を吊り上げない。地域の必要性を考慮した世界ハラール標準を作成する。ハラール食品製造者、認証団体、ムスリムの消費者はハラール性のみならず健康的な食品を生産、消費するよう努める。

